

煉瓦組積造『大人な男の隠れ家』原型を会員限定発売予告！

生活様式と生き方の変更を余儀なくされそうですね。

暮らし方研究会は発足時より住居の在り方を追求し知り得た結果を啓蒙・普及してまいりました。長年に渡る研究活動を総括評価の結果、「終の棲家」と「男の隠れ家」という2タイプの究極のモデルを選定しました。両モデルに共通する必要不可欠な要素は「家は丈夫で質実剛健に」「小さな家を大きく暮らす」「三世代に渡り家族を育む」「素顔で素朴に、時には遅しく」を満たすモデルとして選ばれたのです。

そこで、まず究極のモデルの「終の棲家」を2016年年頭に発表しましたところ、即時に理念に共感された若いご夫妻とお子様の住居として採択され、2017年2月に無事完成を迎え、今日現在も健康で明るく家族仲良く素敵に暮らしておられます。

さて、「終の棲家」に続いて「男の隠れ家」モデルも2021年春に発表を予定していましたが、ポストコロナの影響で生活様式や社会活動様式の変化が起こりそうな気配となりました。そこで時代の流れに合わせ急遽「男の隠れ家」モデルを煉瓦組積造『大人な男の隠れ家』原型として、本年7月に研究会会員限定発売予告を行う予定としました。以下の内容を吟味いただき早目のご採択をお勧めする次第です。

「隠れ家」誕生のヒストリー

先の「終の棲家」と今回の「隠れ家」を設計された建築家・吉村康雄（1914年～2005年）さんは親子二代に渡り、メンソレータムで有名な近江兄弟社の経営、神戸女学院大学・京都YWCAサマリア館・ヴォーリス記念病院・大阪心斎橋大丸・東京山の上ホテルなど幅広い業態の建物の設計をされた、米国の著名な実業家であり建築家でもあったW.M.ヴォーリス氏の薫陶を受けられました。

ときに、吉村さんは91歳でお亡くなりになる直前まで「隠れ家」のモデルの原型となったご自身で設計された山小屋風のご自宅（杉の厚さ6センチ・幅12センチの角材で床・壁・天井を構成）で、少年の心そのままに何事にも目を輝かせた日々を送られていました。奇しくも本設計が絶筆となってしまいましたが、先に触れました究極の2タイプのモデルの必要不可欠要素は吉村さんの住居と生活への確信と信念そのものであったのです。そんな氏の想いと遊び心が詰まった煉瓦組積造「大人な男の隠れ家」原型に住まい、心の拠り処として、より自由に、より人生を輝かせていただければと、ご案内申し上げます。



「隠れ家」の外観

バランスよく大きく流れる屋根には暖炉の煙突と風見鶏がひとときわ際立ち、明り取り窓と共にその機能性の高さを誇っています。コロニアル瓦のブリテッシュグリーンやブリテッシュレッドが建物壁面の煉瓦の上品な赤色と相まって気品に満ちた姿を印象付けています。

切り妻屋根の妻側上部は縦に羽目板が張られ、棟側に設けられた2連の開閉可能な小窓が採光と通気性の良さを感じさせます。土中に埋設した土台から上～羽目板下部・軒桁までの全壁面が煉瓦で組まれています。

また、玄関扉と総ての窓の開口部は木製で、加えて開き戸式の木製雨戸を備え「隠れ家」的雰囲気十分な外観は周辺にその存在感を誇らし気に披露しています。

本物の煉瓦組積造「隠れ家」、古くて新しい素材を暮らす

「煉瓦」という響きに何故か懐かしさを感じます。世界四大文明発祥と同時に建築素材として使われ、日本では奈良時代には既に存在し、明治時代から人々に広く人気を博したようです。人類の古代からの記憶が強く残されているため懐かしさを感じるかも知れませんね。

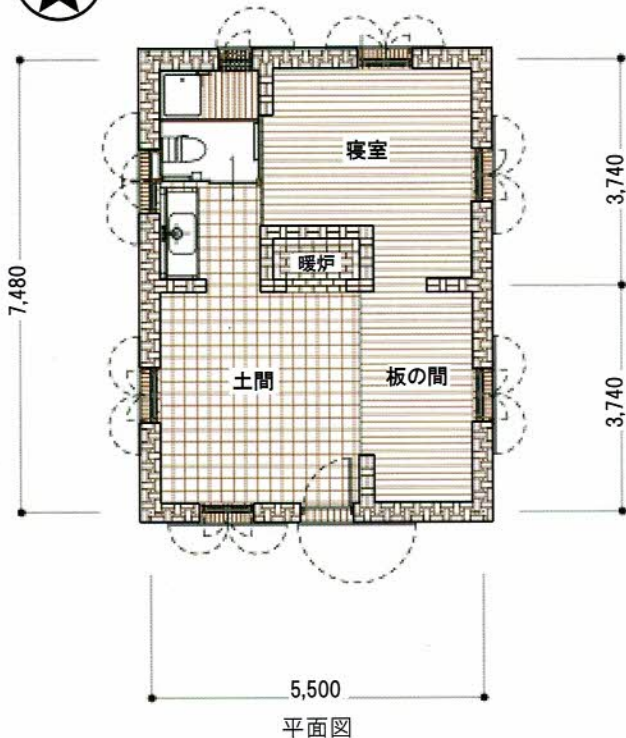
さて、煉瓦は構造材と仕上げ材を兼ねるため、床・柱・壁・屋根など建築空間の大半を構成できてしまいます。今回の「隠れ家」は構造体として煉瓦を使い、床・屋根等の木造部はヒストリーで触れました吉村さんのご自宅と同規格の杉の無垢材を用いています。土の煉瓦と無垢の木材が醸し出す本物の建物と素材に勝るものはなし…そして大人な男の隠れ家（秘密基地）として打ってつけだと自負しています。

今回の主役、煉瓦は土と炎と人の手で作られ一つとして同じものはありません。それをオーナーさんの夢を積み上げるように、人の手で一個一個丁寧に時間をかけて積んでいきます。そんな煉瓦と木のマッチングは、心の深奥で感じる自然回帰への魅力に加え、モダニズムと均一感に慣らされた現代人に取って煉瓦が織りなす不揃い感、偶然感が大なる魅力を発揮するのでは…と悦に入る次第です。

また、現代建築に多い地面からの基礎壁の立ち上り（隔絶感）もなく、地面から直接煉瓦が積み重ね自然との密着感や連続感が「隠れ家」としての神秘性を更に高めています。

室内は床から天井まで煉瓦に覆われ、無垢の木と共に醸しだされる穴倉感と安心感に満ち、夜間は壁面に揺れる灯りの陰影に大人な男にこそふさわしい雰囲気を感じさせてくれます。解る人には解る…「大人な男の隠れ家（秘密基地）」を密かに楽しみください。

「三匹の子豚」も選んだ煉瓦の隠れ家



「隠れ家」平面図

床面積はわずか12坪です。玄関を入るとテラコッタ・タイルが敷き詰められた8畳の土間食堂スペースがあります。その左奥には流し台・トイレ&シャワーが設けられています。玄関右手には4畳の板の間があり、更にその奥には7畳の板張りの寝室があります。

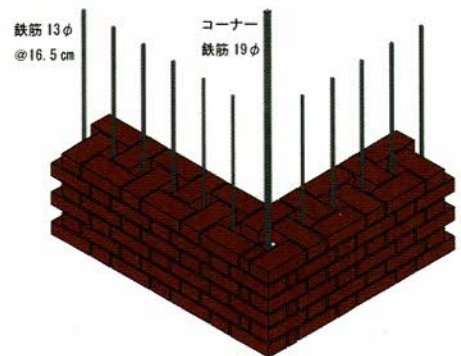
さて、建物の中央部には間口部1間もの暖炉がその存在を誇っており、暖房だけではなく煮炊きが可能な機能を備えています。また、建物全体は屋根裏まで吹き抜けており、狭さを感じさせない開放感と新鮮な空気感に溢れています。

また、玄関上部の斜め天井部分には天窓が設けられ、切り妻屋根の両サイドの開閉可能な2連の小窓と合わせ、光が入り風が流れる空間の贅沢さを感じさせ、小さいながら大きな快適性と居住性が確保されています。

「隠れ家」の煉瓦組積造とは

煉瓦を積み上げる工法を「組積造」と言いますが、建築基準法や施行令などかなり厳しい基準があります。ましてや人が住むほどの大きな規模になると「最近では誰も設計したことがないのでは…」と言われるほどに大ごとなのです。構造的には土中の基礎の上に煉瓦の壁を四面に積んで屋根を載せたシンプルで安心・安定感のある建物になります。

基本構造は約1万3千個の煉瓦による煉瓦組積造(鉄筋入)で、2間(3.6m)ごとに1mの控え壁を設け、しかも壁厚は32センチもあり、静音性と断熱性に加え耐震性能をも確保しています。



煉瓦組積図

「知」は人生を楽しめます。「隠れ家」のヒントです

再び触れますが、ポストコロナは想像以上の暮らしの変化をもたらし、1次産業や2次産業への見直しや回帰、個人のライフスタイルの変化は勿論、社会的変化・変革が起こりかねない状況が予想されています。

状況によれば都会を脱出する方や、ご自宅の無駄な広さを切り捨てる方が現れるかも知れません。何れにしても一足早く時代を先取りし、積極的にかつ自在に生きることこそが、「隠れ家」に求められる要素であると考えます。以下のヒントをご参考にご自分だけの煉瓦組積造「大人な男の隠れ家」の実現をご検討ください。

■個人用…

私の仕事部屋・テレワーク部屋・のんびり書斎・収集品の飾り場・各種作業場・マイ工房・マイアトリエ・レコード鑑賞室・映画鑑賞室・マイバー・建替えて家族と住まう、等々

■お客さまをお迎えする…

貴賓応接室・各種教室・カフェ・ベーカリー・プチレストラン・ケーキショップ・花屋・ネイルサロン・プチ美容室・駄菓子屋、等々
※用地は、お住いの敷地の一角に、お手持ちの山林や野畑の一角に、別荘を建替える、適地を見つけて新たな投資物件として運用する、等々。

煉瓦組積造「大人な男の隠れ家」原型の予定建築価格

金 33,000,000円(税抜 30,000,000円)
但し外構工事・屋外給排水工事・確認申請費用は別途。

お問合せ先/暮らし方研究会

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目2番15号 吉岡ビル302号

フリーダイヤル:0120-11-6584(いい老後やし) FAX 06-6356-7225 <http://www.kurashikata.gr.jp> E-mail ask@kurashikata.gr.jp